



いたびつ **板櫃** <校訓>
真理の探究
自主躍進

令和6年6月4日(火)発行

校長 栗原博巳

北九州市小倉北区白萩町8番1号

HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>

自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～

<目指す生徒像>

- ① 「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
- ② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
- ③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
- ④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)



児童生徒の安全確保について(学校と家庭で子どもを守ろう)

先日の地域会議で情報提供がありましたのでお知らせします。板櫃中学校の周辺は、高校、大学、小学校があり、教育環境に恵まれています。一方で、付近の道路は交通量が非常に多く、横断歩道、信号、歩道が整備されているとはいえ、交通事故の危険性もはらんでいます。

特に、地域の会議で、井堀、中井、日明交差点で事故が多いと話が出ました。

一昨年、子どもに関する交通事故発生状況等について、警察庁から情報提供がありました。これによると、

- 歩行中死者・重傷者に占める幼児・児童の割合は5・6月にかけ上昇する
- 幼児・児童の死者・重傷者は、いずれも歩行中が約6割と最多、児童では約3割が自転車乗用中である
- 歩行中幼児の死者・重傷者につき、時間帯では16～17時台、自宅からの距離別では50m以下が最多である
- 歩行中幼児の死者・重傷者は約7割に幼児側(保護者等)の法令違反があり、飛出しが約3割で最多、次いで幼児のひとり歩きが約2割である
- 児童の死者・重傷者は低学年で多く、歩行中では小学1年生が最多、学年が増すごとに自転車乗用中の割合が増加する
- 歩行中児童の死者・重傷者につき、時間帯では16～17時台が最多、約6割に法令違反があり、飛出しが約4割で最多である
- 自転車乗用中児童の死者・重傷者は、約8割が法令違反である

などの特徴がみられます。特に年度初め、学期初めには、生徒の環境変化に伴う事故の増大等が懸念されることから、これらの情報を学校・家庭・地域で共有するとともに、関係機関・団体等と連携・協力を図りながら、交通ルールの遵守や安全な道路の横断の仕方、自転車の走行上の注意等に関する効果的な安全教育・安全管理の徹底による生徒の安全確保の更なる取組を進めていく必要があると感じています。

部活動後の安全確保も、交通安全の観点からのみでなく、防犯の観点からも生徒に注意喚起をしていますので、ご家庭でも声掛けをお願いします。



交通安全のポイント(中学生編)

